

別記  
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	平成28年 7月 20日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府長岡京市神足焼町1番地	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) パナソニック セミコンダクターソリューションズ株式会社 代表取締役社長 小山 一弘

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001
適用範囲	パナソニック セミコンダクターソリューションズ株式会社 1)開発拠点:長岡、横浜(TS適用)、 2)製造拠点:白河(TS適用)、鹿児島 3)営業拠点:長岡、虎ノ門、いわき、名古屋、草津、門真、福岡、立川、横浜 4)支援拠点:長岡、新井、魚津、砺波
導入年月日	2009年 10月 9日
認証番号	JQA-EM6421
基本方針	パナソニック セミコンダクターソリューションズ株式会社は、半導体及び関連製品の生産活動(開発・製造・販売)、製品・サービスにおいて「顧客満足度向上」「地球環境との共存、汚染の予防」及び「安全快適職場作りと負傷や疾病の予防」を実現するために、各人・各部門が役割を認識し、継続的な改善を行う。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量削減目標:原単位_前年比1%減</li> <li>・環境リスク事故発生件数:ゼロ</li> </ul>
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量原単位改善:CO2排出量の管理強化及び削減推進の実施 ※・4KラインCP停止によるアンロード電力削減 ・A棟B室 空調 見直しによる省エネ</li> <li>・環境リスク事故発生件数:有害物質使用特定施設、有害物質貯蔵特定施設定期点検</li> <li>・廃棄物処理委託会社立ち入り検査</li> </ul>
目標を達成するための取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量原単位改善:CO2削減取組効果により月度計画達成中 ※CO2排出量の管理システムによるCO2排出量管理の継続実施中 ※・4KラインCP停止によるアンロード電力削減 ・A棟B室 空調 見直しによる省エネCO2排出量の削減</li> <li>・環境リスク事故発生件数:法定点検、自主点検を実施し事故発生なし</li> </ul>
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	上記の取組内容により、計画を達成中
事業活動に係る法令の遵守の状況	事業活動に係る法令等の一覧表を作成し、法に逸脱しないように毎年の見直しと毎月順守評価を実施している。 これまで違反はない。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	JQA審査でシステムが有効に機能していると評価を頂いている。 システムを継続的改善するため必要に応じて規定書の改正を実施している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌・地下水汚染防止基準 改正</li> <li>・長岡地区品質・環境・OSH管理推進基準 改正</li> <li>・長岡地区水質汚濁防止実施基準 改正</li> </ul>

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。

別記

第1号様式 (第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事	平成 28年 7月 20日
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府長岡京市神足焼町1番地	氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) パナソニック セミコンダクターソリューションズ 株式会社 代表取締役社長 小山 一 弘

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001 (2004版)
適用範囲	パナソニック セミコンダクターソリューションズ 株式会社 (亀岡事業場)
導入年月日	1997年 6月 24日
認証番号	(JACO) EC97J1029
基本方針	地球環境の保護が人類共通の最重要課題の一つである事を認識し、全従業員は積極的に環境改善を進める。 具体方針：(1) ISO14001の継続的改善(2)法令等の遵守 (3) CO2削減、廃棄物削減、指定化学物質等の排出・移動量削減
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標 (以下「目標」という。)	(1) 電力使用量_生産高原単位低減 (省電力) を5ヵ年計画で運営 2016年度 計画は2011年度比 31%減 (2) 新規導入設備 (定格電力 3.75kW以上) 省エネアセスメント 実施によるCO2削減施策促進
目標を達成するための取組の内容	【亀岡事業場：2015年度取組】 (1) プレス機_ワイド金型搭載による生産効率向上策の推進 (2) 樹脂成形機ククトアップによる生産効率向上策の推進 (3) 純水製造装置内ポンプ制御方法見直しによる稼働時間削減 (4) 製造707-一部・排水処理棟他LED照明化 (5) 高圧エア配管、リーク総点検及び補修
目標を達成するための取組の進捗状況	【亀岡事業場：2015年度取組】 計画した殆ど施策は実施できた。 又、計画作成後も追加施策が挙げられ、実施された。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	【亀岡事業場：2015年度取組成果及び評価】 施策による効果 (CO2削減量) は計画を上回ることができた。
事業活動に係る法令の遵守の状況	【亀岡事業場：2015年度法令遵守状況】 監視項目に応じて頻度を設定し (年に4回・年に2回・年に1回)、定期的に状況を監視・評価を行う事としている。 結果、遵守違反は確認されなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	【亀岡事業場】 エネルギーは管理手法として、生産高原単位を取り入れている。 下期に生産高減が予測されたため、計画の見直しを行っており、計画はクリアできている。 マネジメントレビューでは目標を達成している事もあり、エネルギー管理に対し、特段なシステム見直しに及んでいない。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。